

基督教学研究

第 29 号

論文

前期ブルトマンにおける神学と哲学について……………大島 征 二 …… 1

Th・マンとM・ルター

——一つの試論のための予備的考察——……………掛 川 富 康 …… 29

研究

アレントの『全体主義の起源』再読——『人間の条件』へ……………今 出 敏 彦 …… 67

E・トレルチの思想展開における「本質」概念の位置づけ……………小 柳 敦 史 …… 81

アウグスティヌス『シンプリキアヌスへ』における

「相応しき呼びかけ」(uocatio congruens)と自由意志……………須 藤 英 幸 …… 91

ジョン・ヒックの神義論……………方 俊 植 …… 105

IIコリント五・三における読みの問題……………田 代 英 樹 …… 117

彙報

彙報

A. 二〇〇九年度基督教教学専修講義題目

芦名定道 教授

系共通講義 「キリスト教教学講義」

特殊講義 「キリスト教思想における社会・政治・民族

(3)」

特殊講義 (前期) 「キリスト教思想入門」

演習 「日本・アジアのキリスト教——波多野精

一(2)——」

演習 「宗教と科学の新たな関係構築に向けて

——ロック(1)——」 (John Hick, *The New*

Frontier of Religion and Science. Religious Experience, Neuroscience and the

Transcendent.)

演習 「キリスト教思想研究の現在」

演習 「キリスト教思想の諸問題」

演習 (後期) 「新約聖書とその思想——〈家族〉論を中心

に——」

土井健司 講師

特殊講義 「古代キリスト教思想とフィランソロピア

論の系譜(2)」

辻 学 講師

特殊講義

「一世紀後半におけるパウロ受容史・牧会

濱崎雅孝 講師

演習

「神なき時代の神論——パネンベルク「組

勝村弘也 講師

語学

「聖書ヘブライ語初級文法」

B. 二〇〇九年度論文題目

修士論文

岩井謙太郎 「シユヴァイツァーにおける〈生への畏敬〉の

倫理の構造」

C. 二〇〇九年度研究発表会

第二回研究発表会

二〇〇九年七月十八日(土)、京都大学文学部第二講義室

竹田文彦 「『ネストリウス派』——東シリア教会のキ

リスト論再考——」

堀川敏寛 「ヘブライ語聖書翻訳作業を通じたプーバー

の思想表明」

第三回研究発表会

二〇〇九年十二月十二日(土)、京都大学文学部第五講義室
秦 剛平 「イエスのエルサレム陥落予言とそれを利用

したキリスト教の反ユダヤ主義」

小柳敦史 「トレルチにおける合理性と非合理性の総合

と断絶——本質論から歴史主義へ」

京都大学基督教学会規約

- 一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。
- 二、本会は基督教学研究の進展を目的とする。
- 三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。
 - (一) 研究集会、講演会などの開催
 - (二) 学会誌『基督教学研究』の発行
 - (三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流
 - (四) その他の必要な事業
- 四、本会は基督教学の研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって構成する。
 - (一) 一般会員
 - (二) 学生会員 大学院学生及びこれに準ずる者。
 - (三) 会友 本会の趣旨に賛同するもので、研究集会での発表の機会と学会誌の配布を受けることができる。
会友希望者は、委員会承認により会友となることができる。一年以上会友であった者で、会員になることを希望する者は、会員二名の推薦により委員会の議を経て、総会で承認を受けるものとする。
- 五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれ

に充てる。

会費として、会員は年五千元、会友は年三千元を納めるものとする。

六、本会の運営のために次の委員を置く。

(一) 代表者 (二名)

(二) 委員 (若干名)

(三) 監事 (二名)

七、本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。

八、本規約は運営委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。

附則

本規約は一九九八年十二月施行、二〇〇八年七月改訂。

運営委員会

代表者：高野晃兆

委員：林 忠良、片柳榮一、宮庄哲夫、勝村弘也、

芦名定道、竹田文彦、武藤慎一

監事：水垣 涉

執筆者

大島 征二	信州大学名誉教授
掛川 富康	茨城キリスト教大学教授
今出 敏彦	京都大学文学部非常勤講師
小柳 敦史	京都大学大学院文学研究科後期課程
須藤 英幸	京都大学大学院文学研究科後期課程
方 俊植	京都大学大学院文学研究科後期課程
田代 英樹	京都大学大学院文学研究科後期課程

『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。（本規定は二〇〇〇年十二月十六日から施行する）

第二十九号編集実務委員会

高野晃兆
林忠良
片柳榮一
宮庄哲夫
勝村弘也
芦名定道
竹田文彦
武藤慎一

二〇〇九年十二月二十日印刷
二〇〇九年十二月三十日発行

定価一五七五円
(本体一五〇〇円)

発行者

京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科
キリスト教学研究室内

発行人

高野晃兆

発売元

(株)一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

(株)アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、
もしくは、右記、京都大学基督教学会(振
替〇一〇三〇一五―七二〇七)へ、定価一
五七五円(送料当方負担)を添えてお申込
みください。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol.29

December, 2009

Contents

- Theologie und Philosophie bei früherem Bultmann*Seiji Oshima
- Thomas Mann und Luther*
—*Propädeutische Untersuchung zur Wirkung des*
Reformators auf den DichterTomiyasu Kakegawa
- A Rereading of Arendt's "The Origin of Totalitarianism"*
—*Toward "The Human Condition"*Toshihiko Imade
- Der Begriff vom »Wesen« in der Gedankenentwicklung Troeltschs*
.....Atsushi Koyanagi
- Suitable Calling (uocatio congruens) and Free Will*
in Augustine's "Ad Simplicianum"Hideyuki Sudo
- John Hick's Theory of Theodicy*Junsik Bahng
- The Interpretive Question of II Corinthians 5:3*Hideki Tashiro

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan